

なごみ

平成二十八年十二月 題字 周防 和衛

◇青葉台・五月台ユニット紹介

青葉台・五月台ユニットリーダー

早石 大祐

青葉台・五月台ユニットは特養四階の東側にあります。

職員は正・準職は六名、非常勤職員は九名の総勢十五名の職員でご利用者の生活をサポートしています。若いスタッフもあり、ご利用者一人一人から学ぶことが多い日々です。ご利用者の皆様の生活を、ご自宅での生活に近づけられるよう職員一同心掛けていますが、まだまだ課題も多くあります。

平成二十八年度のユニットの方針は、「ご利用者に安心した生活を送って頂けるようサポートする。ご利用者の気持ちに寄り添えるようにする」と掲げました。

ご利用者の状態は生活の中で日々

変化します。そのため私達スタッフが同じケアを行っていても、ご利用者の感じ方が異なることもあります。どうすれば安心して生活ができるか、少しでも笑顔が引き出せるかを念頭におき、職員みんなで試行錯誤の日です。

六月頃、ご利用者とトマトの苗を植え、日々水やりを行い収穫まで行う事ができました。ご利用者の体調等で、一緒に水やりができない日もありましたが、ご利用者の素敵な笑顔も見ることができ、

美味しく甘いトマトが収穫できました。作物を育てることが楽しかったと、早くも次の計画を考える方もいらっしやいました。日々のケアの中



ではご利用者の言葉を気に掛け、ご利用者の気持ちや考えに寄り添うには、どうすればよいかを考えています。また、普段との違いに

少しでも早く気付けるように心掛けています。ご利用者にも、スタッフには言えない事などあると思いますが、いろいろな方法と手段を用いて悩みや思いを引き出すようにしています。それでも難しい場合は、ご家族の協力のもと思いを汲み取り、より安心してきるよう対応しています。

まだまだ、目指している目標と現実の違いはありますが、各スタッフと連携して目標の実現化に取り組みで行きますので、よろしくお願致します。



■委員会報告

◇感染症対策委員会

感染症対策委員会では毎月、ラウンドチェックと呼ばれる、ユニットを巡回し、ノロウイルス対策キットの使用方法などのチェックを行います。さらに冬場になると、前月号の広報委員の記事でご紹介させていただいたような研修も行い感染症予防に努めています。ラウンドチェックでも研修でも、①適切な初期対応方法②感染拡大を防ぐ処理の方法、の二項目を重要視し、行いました。今回のラウンドチェックの際に、シ

ューズカバーの使い方がとっさの時わからない、ということがありましたが、使い方を復習する機会になったことで「失敗したことで二度と忘れない」という



シューズカバー

ご意見も頂けました。今後も感染症の拡大を未然に防ぐ為、多様な感染経路を理解した上で、適切な対応・処理の方法を身に着け実施できるよう、努めて参ります。(向川)

◇給食委員会

今月も行事食や思い出メニューなどいつもとは一味違う食事が盛り沢山でした。今月の行事食はデイサービス、仁川・武庫川、青葉台・五月



台ユニットからのリクエストで出張握り寿司を行いました。厨房のスタッフが目の前で握って下さるお寿司に、「つつい手が伸び」「次はマグロにしようかな」「おいしくて食べ過ぎてしまったわ」と嬉しい声をたくさん聞くことができました。また、今月の思い出メニューは仁川・武庫川ユニットのご利用者から教えて頂いた焼き肉のたれです。合わせ調味

料に生姜やりんごを入れ、メリケンの粉でとろみをつけたオリジナルの特製だれは、お子様と一緒に作った思い出の一品と教えて下さいました。当日までに厨房のスタッフが試作品を作って下さり、思い出の味を再現できるように味見をして頂きました。当日は「この味！なつかしい。おいしいわ」と直伝の味にお墨付きを頂くことができました。



今後も皆様の思い出が詰まったお料理をエピソードと共にお食事の際に紹介させて頂きます。(藤川)

◇事故防止委員会

今年度より実施している、館内ラウンドをする際に使用しているチェック表に、チェック項目を追加して今月もラウンドを実施致しました。追加した項目は①作成された報告書が各部署の職員に正しく把握されて

いるのか（事故の形態や、同様の事故が発生していないか）、②改善策の振り返りについて（改善策を実施して以降、事故防止に繋がっているか。更なる改善策が必要であるかの振り返りは実施出来ているか）の二つです。これらの項目について確認すると、「同様の事故が発生した際に以前の改善策を、より実用的に変化させた」と今後の事故防止に繋がった部署もありました。あるユニットでは、伸びた爪が引っかかり、けがをされた事故以降、改善策として毎日ご利用者の手の爪の状態をチェックする取り組みを実施しています。冬場は皮膚が乾燥する事から、スキントラブルが起きやすくなります。小まめなケアの積み重ねで多くの事故防止につながるよう取り組んで参ります（吉田）

◇研修委員会

十一月は認知症研修を実施しました。看護師より「認知症とは」という基本的な説明を行い、中核症状と

周辺症状の違い・対応などについて学びました。日々の業務の中で培った知識を更に深めることができたと感じています。

その後、事例をもとにその場をイメージしながら対応について個人ワークを行い、グループ毎に検討し全体発表を行いました。グループで話す中で、他のユニットや部署の職員と意見交換をし、違った視点での声掛けや対応方法を学ぶことが狙いです。今回は、排泄介助や入浴介助など、直接的な介護以外のスキルや知識の向上に繋がったと考えます。「一人ひとりに合った声掛けを模索しながら、職員もストレスを貯めずに明日からの業務に生かしていきたい



い」と全体のまとめをしました。研修参加者から「認知症状があるからと諦めず、鑑別診断が大切だと初めて知った」などの感想もあり、基本的な研修の大切さを再認識しました。グループワークを交えた研修は、認知症に対する知識を深める有意義な機会となったと捉えています。（岩井）

◇介護記録記載研修を受講して

十一月三十日から内部研修として介護記録記載研修が行われています。今回、研修の対象者が職員全員という事で、広報委員も研修に参加しましたので、研修の内容や職員の反応をお知らせしたいと思います。

今回の介護記録記載研修では、新しくなった宝塚ちどりの介護記録記載マニュアルの説明と、具体的な記載例を学びました。

まず最初に、何故正確な記録が必要なのかという基本中の基本から、記録にふさわしくない、用語や表現とその理由、具体的な記載

方法、効率的な書き方、良い例と悪い例など事例を挙げて学びました。この研修を踏まえ、分かりやすく統一された記録を残せるようになり、ご利用者の状態の把握や、情報の共有に役立てることができるようになっていきたいと思います。(荻田)

★クリスマスにむけて

十二月六日から特養・グループホーム二階ベランダにクリスマスイルミネーションを設置しています。クリスマスイルミネーションを見ると華やかで楽しい雰囲気になり、いよいよ年末になったんだなと実感します。このイルミネーションは十二月二十五日までの十七時から二十一時まで点灯させて頂く予定です。そのほか事務所前にクリスマスツリーを飾りました。また、去年に引き続き、給食委員主催のクリスマスケーキコン



テストも開催いたします。各ユニットのデコレーションもお楽しみ、クリスマス!!

(広報委員 須賀)
(地域交流委員 安藤)



★デイサービスのたこ焼きパーティー

十一月二十六日、デイサービスではおやつにたこ焼きを作りました。おやつレクは毎月行っていますが、甘いおやつを選ぶことが多く、今回はご利用者からの熱いリクエストを受けてたこ焼きに決定しました。おやつレクは第一に「ご利用者と一緒に作る」ということを大きな目的としています。今回も生地を混ぜるところから、ご利用者にも参加して頂きました。焼く工程に入ってから、男性のご利用者が「竹串貸してくれ」と盛り上がり、職人のような手さばきで



次々にたこ焼きをひっくり返しておられました。天かすが期限切れで使えない、というトラブルに見舞われましたが、厨房の職員さんの協力で天かすを作って頂き、何とか間に合わせることができました。味はと言いますと、出来立ての天かすを使ったせいか、どなたからも「おいしい」「こんなに美味しいたこ焼きは初めて食べた」など絶賛して頂きました。ちなみに、これは、明石のたこを使用しました。今回の好評を受け、次回のたこ焼きレクも三月に予定しています。



編集後記

今年も一年、なごみを読んで頂きありがとうございます。来年は更に皆様に興味を持って頂ける広報誌を目指して参りますので、来年もなごみをどうぞよろしくお願い致します(乾)

